

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年（前期）	2	1（通年）	選択
担当教員			
松井 豊			
月1、2			
添付ファイル			

科目の概要	日本伝統の総合芸術文化である茶道の稽古を通し、心の豊かさ、物質本来の美しさを捉え、現代の移り変わりに対処できる新しい人間像を見いだす。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション 授業の進め方・道具の確認・成績評価</p> <p>第2回 割稽古 割稽古の復習・柄杓の扱い方など</p> <p>第3回 薄茶点前 釜や柄杓などを使った薄茶点前を学ぶ</p> <p>第4回 薄茶点前① 点前の復習(1)</p> <p>第5回 薄茶点前② 点前の復習(2)</p> <p>第6回 薄茶点前③ 点前の復習(3)</p> <p>第7回 薄茶点前④ 点前の復習(4)</p> <p>第8回 薄茶点前⑤ 点前の復習(5)</p> <p>第9回 薄茶点前⑥ 点前の復習(6)</p> <p>第10回 薄茶点前⑦ 点前の復習(7)</p> <p>第11回 薄茶点前⑧ 点前の復習(8)</p> <p>第12回 薄茶点前⑨ 点前の復習(9)</p> <p>第13回 季節の点前 夏に行う点前などを学ぶ</p> <p>第14回 季節の点前 点前の復習</p> <p>第15回 まとめ 授業の振り返りなど</p>
学習到達目標	本講義では、下記授業の概要を目標として茶道の基本点前の稽古を行う。「茶道を学ぶ事により、日本の文化、立ち居振る舞い、礼儀作法を知る。」
授業の方法	<p>基本点前の稽古は、以下の順序で進んでいきます。</p> <p>1. 割稽古 割稽古というのは、点前の基本となる動作を一部分ずつ稽古する、部分練習です。座り方、立ち方、お辞儀の仕方、歩き方、袱紗の扱い方、道具の清め方などです。点前上達の秘訣は、この割稽古を充分にして、正しい動作、正しい位置をよく覚えることです。</p> <p>2. 薄茶点前 平点前というのは初歩の点前ですが、すべての点前の基礎であるのと同時に、茶道の最終目標でもあります。</p> <p>以上の点前の稽古をしながら、適宜、茶の湯の中に見られる、日本の伝統文化のいろいろな側面、例えば、伝統工芸、建築、造園、料理、花、宗教、年中行事等々の話をしていきます。</p>
成績評価の方法	実技試験(70%) 授業態度(30%)
教科書・テキスト	「新版、茶道」淡交社
参考書	特になし
授業時間外の学修について(事前・事後学習について)	講義内容の復習

履修上の留意事項	講義への参加態度を重視します。 お菓子などの写真を撮影する為に携帯を所持する事を認めるが、それ以外での使用は禁止する。また授業で使用する道具を忘れず持参する。
オフィスアワー	月曜日1・2限目
実務経験	茶道家
その他	特になし